

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第 27 回藤井寺市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和 4 年 11 月 9 日(水) 13 時 00 分から 15 時 00 分
開 催 場 所	藤井寺市役所 厚生棟 2 階 研修室
出 席 者	委員：輿石 由美子・中辻 智子・石川 明宏 星野 智子・松田 直子・下村 富美枝 春名 絵美・爲貞 修子 (順不同・敬称略)
欠 席 者	岡本 裕典
会 議 の 議 題	1. 藤井寺市子どもの生活に関する実態調査の報告 2. 藤井寺市子どもの貧困対策推進計画（仮称）について
会 議 資 料	・次第 ・出席者一覧 ・(資料 1) 藤井寺市子どもの生活に関する実態調査報告書 概要
会 議 の 成 立	成立
傍 聴 者 数	0 人
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記
記録内容の確認方法	会長の確認を得ている。
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開

## 第27回藤井寺市子ども・子育て会議

日時：令和4年11月9日(水) 13時00分～15時00分

場所：藤井寺市役所 厚生棟2階 研修室

### 1. 会長挨拶

### 2. 参加者紹介

### 3. 議事

- ・藤井寺市子どもの生活に関する実態調査の報告
- ・藤井寺市子どもの貧困対策推進計画（仮称）について

### 4. 議事録

事務局： 委員9名中8名の出席で会議が成立。なお、傍聴人は0名であり、今回は計画策定業務を委託しているコンサルタント業者も出席している旨、報告させていただく。

会長： それでは次第に沿って進める。議題1 藤井寺市子どもの生活に関する実態調査の報告について、事務局より説明をお願いします。

～ 事務局より資料1に沿って説明 ～

会長： 調査票については本会議の意見を踏まえ、実施いただいた。未回収や判定不能回答もあったが、傾向の読み取れる結果となっている。先ほどの説明に対し何かご意見ご質問はあるか。

委員： 回収結果に関して、未提出の理由は把握されているか。

事務局： 未提出の理由に関しては把握していない。学校等への配布依頼時に配慮いただきたい点をお伝えし締め切り前には生徒への声掛けをしてもらうなどご協力いただいた結果である。

委員： 前提として、本テーマの計画策定およびニーズ調査は今回が初めてなのか、計画策定にはニーズ調査が必要なのか。

事務局： 子どもの貧困対策に関する計画策定と計画策定のための調査は今回が初めてである。また、「子ども・子育て支援事業計画」については、保護者を対象としたニーズ調査を実施して策定している。市民のニーズを踏まえた上での政策計画を策定するため、ニーズ調査はセットで行うことがほとんどである。

委員： ひとり親家庭が調査結果の中でも常に浮き彫りになっているということが可視化されているように思う。

会長： ひとり親への支援、特に養育費の受け取りに関する支援の必要性がうかがえる結果となっている。

委員： 養育費の取りはぐれがないように、養育費の取り決めにかかる公正証書の作成費等の助成事業の現状はどのようなものか。

事務局： 養育費の受け取り支援に関する取り組みについては、他市では公正証書の作成にかかる費用の助成事業などを実施しているが、本市では現状取り組んでいない。離婚前や離婚後の相談を弁護士に対して行える、ひとり親家庭等への無料法律相談事業を実施している。

委員： 今回の調査で養育費を受け取っていないひとり親の数が示されたが、今後の見解はいかがか。

事務局： 今回の調査結果を受け、ひとり親に対する支援の必要性を感じている。

会長： 調査結果より、養育費の取り決めをしている人の割合が全国調査よりもかなり低く、取り決めをしていても受け取れていない人も多いという問題がある。法律は理解が難しいが、ひいては子どものためになるという視点で、伝わりやすい発信、周知をしてもらいたい。

委員： ひとり親に対しての支援は今上がった点を検討していただきたい。それ以外の視点で、支援が必要な世帯に情報が届いていないという点があったと思う。既存事業が市民に浸透していない結果が出ている。支援が必要な家庭へ必要な情報が届いていない点に関して、例えば入学説明会などで、支援が必要な家庭に向けた事業の周知や、離婚届出書提出時に、対象世帯向けの事業案内を行うなど取り組んでいただければと思う。

委員： 支援が必要な人ほど、市からの通知文をしっかりと読む余裕がない。端的にわかりやすく伝わるような工夫が必要であると感じる。

副会長： 今回のニーズ調査については、設問量も多く、回答者の労力は大きかったと想像する。回答は貴重な意見であり、これをぜひ活かした取り組みを検討いただきたい。

ヤングケアラーの把握に関しては、当事者はこんなに少ないのかという印象をもった。年齢の低いころから家事等を行っている本人にとっては大変なことだという認識がないのかもしれない。昨今注目され問題になっていることから、ヤングケアラーに特化した調査の必要性を感じる。

そのほか、学習面について支援が必要だと感じる。藤井寺市の近くには大学や高校もあるため、学生と連携した支援を行えば、学生も市も双方にメリットがあるのではないかと。

会長： 勉強の仕方がわからないという子どもに対して、学習塾などとは違った、年齢の近いボランティアに学べる場があればよいと感じる。

委員： 現在、防災と子どもの居場所づくりのための活動を始めたいと考えており、いずれはそういったこともできればよいなと思っている。

委員： 自身の所属団体でも、生活の質の向上のための事業を検討している。ぜひ行政とも連携して行っていきたい。

委員： 学習支援に関しても企業を巻き込んだ継続的な事業を行う仕組みがあればよいなと思う。行政と対象者だけでは予算の関係なので事業の先細りが懸念されるが、社会貢献に理解のある企業を巻き込み、NPO法人や市民団体、対象者がつながれる仕組みをつくれば、持続性のある支援が行えるのではないかと思う。

委員： そういった企業が一定数あって、小さい規模でやっている企業や事業所が繋がれば息の長い、幹の太いことができるのではと思う。とはいえ、支援が必要な家庭は福祉的な支援も必要なので行政のかかわりは必要だと思う。

委員： 市が実施している学習支援事業の利用率をお聞きしたい。

事務局： ひとり親家庭等学習支援事業につきまして、ひとり親世帯の小学4～中学3年生を対象に、学習機会の定着、子どもの居場所づくりなどを目的に実施している。令和3年度までは35名の定員であったが、定員以上の申し込みがあったため、令和4年度からは定員を60名に増やし申込者は全員利用できている。8月から2月の期間、週一回実施。子ども5名に対し1名の講師。委託事業として利用料無料で実施している。

委員： 小学4年生からということだが、この時期に不登校となりやすい年代であるため、学習機会の定着という観点であれば、もう少し低学年から対象とするほうが良いと思う。その他、放課後児童会に学習指導をおこなえる人材を派遣するなどをすれば、放課後児童会が学習機会の定着の一助になるのではと思う。

事務局： ひとり親家庭等学習支援事業の対象を広げる件については、ご意見として受け止め、今後検討する。

委員： 放課後児童会の内容について教えていただきたい。学習的な指導は行っているのか。

事務局： 放課後児童会の所管課は生涯学習課となるため確かではないが、指導員が配置されており、宿題する場の提供はしているが、宿題の指導はしていないと認識している。

委員： 放課後児童会は利用料があるのか。大阪市は低学年までは無料である。

事務局： 本市の場合は、月額5,000円程度である。

会長： 今回の調査を通じていろいろご意見ある中で、支援については、形よりも中身が大事である。法律相談や、放課後児童会、その他事業について充実しているかどうか重要であるため、市単体では難しいことは地域資源や企業を巻き込んで支援を充実させてほしい。本会議で出た意見は代表的な意見であり、また、調査結果を貴重な資料として、子どもの貧困対策に資する施策の検討を続けていただきたい。

委員： この調査結果が施策の根幹になっていくと思うが、今回の調査で調査票が未回収の家庭ほど支援を必要としているのではないかという懸念がある。また高い所得区分であっても経済的困難世帯の家庭があるという点において、例えば借金の問題を抱えている家庭もあるのではないかと想像する。収入が多いために支援対象には入らない家庭もあり、そういった家庭も対象とした支援があればよいと思う。

委員： この会議に参加している委員として、「なかなかのまちなか藤井寺」から、「子育てするなら藤井寺」になればいいなと思っている。子育てをしやすくするためには財源が必要で、企業からと個人からの税収が必要である。個人の税収を増やすためには、共働き世帯を藤井寺に呼び込んでいくことがポイントになると思う。少し飛躍する考えにはなるが、それを達成するためには、保育料の無償化、放課後児童会利用料の無償化が必要と思う。2点が無料になれば、子どもにかかる費用が増え、また市の魅力になると考えるため、提案させていただく。

会長： 以上の意見については、他課にも共有いただきたい。  
その他、本調査は関係団体調査もされているので、貴重な意見として計画へ活用してい

ただきたい。

議題1について他にご意見あるか。

～意見なし～

会 長： では次に、議案2 藤井寺市子どもの貧困対策推進計画（仮称）について、事務局より説明をお願いします。

事務局： 調査結果報告を踏まえ、現在計画案の作成を進めているところである。計画案ができた際には、委員の皆様へ意見照会をさせていただくので、その際には、ご協力いただきたい。また、いただいたご意見をもとに計画案について庁内検討会議でも諮っていく予定である。計画策定に向け引き続きご協力いただくようお願いしたい。

会 長： 今の説明に対して、何かご意見等はあるか。

～意見なし～

会 長： 今回の調査結果は子どもの貧困対策推進において貴重なデータである。今回の結果のひとつひとつが大切な施策に関わるため、しっかりと吟味していただき、施策へ生かされ、回答された方を含め市民に反映されるようにと願う。  
他に何かあるだろうか。

～意見なし～

会 長： ないようなので、進行を事務局にお返りする。

事務局： 予定していた議論はこれで終了となるので、会議はこれで終了とさせていただきます。

5 閉会